

救急科医師募集概要

病棟の概要
【病床数】 5床程度 【外 来】あり
募集の経緯
当院が所属する医療圏では救急のニーズが高まっているとともに、医療資源の乏しい医療圏からの患者受け入れ要請が多くなるなど、救急体制の拡充が必須となっております。 現在当院は二次救急病院ですが、上述のような医療ニーズの増大に対応するため、行政からも大学病院や三次救急病院に準じた救命救急センターの開設要請があり、現在協議を行っている段階です。 また、より強固な救急体制を構築すべく、手術室やICUを強化した新たな棟を建設予定としています。
業務概要
■救急科の体制や運用状況について 患者の診療科によって対応が異なります。 いわゆるトリアージ型の対応もあれば、外科的な対応をとる場合もあります。 救急科については現在立ち上げたばかりの状況であるため、医療ニーズに併せて今後範囲を拡充していきます。 トリアージ的対応と外科的対応の「いいとこ取り」で体制をつくっていきたいと考えています。
■現在の救急のアクティビティーについて 救急車搬送台数：220台／月 8台／1日 年間の全身麻酔件数は年間で2,200件を超え、新潟県内で5番目、医療圏では3番目に件数が多い施設です。
必要な資格など
救急科医師としての経験
手術・当直・オンコールについて
手術：ありません（希望により可） 当直：選択可（※） （※）当直は必須ではありませんが、可能な場合については月1～2回程度業務に入っていただきます。手当は1回16,500円が支給されます。なお、当直業務は病棟の当直ではなく、救急外来を担当することとなります。
年収概算
1,800万円～2,000万円程度 ※臨床経験年数により決定されます。上記金額には超過勤務等各種手当を含みます。
その他賃金等
通勤手当（上限20,000円）／住宅手当（賃貸のみ、上限27,000円）／扶養手当（国家公務員準拠） 駐車場使用料（通勤距離2km以上の場合無料／2km未満は月1,000円） 学会補助（年度で20万円まで、旅費・会費で使用可） 論文発表補助（学会発表1件5,000円、論文掲載1件15,000円）
加入保険
健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険（病院加入）